



# 2021年度第1四半期 決算概況

## ブロードメディア株式会社

### 2021年7月29日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

# 2021年度第1四半期決算概要

業績予想の修正および株主還元

システムデザイン開発株式会社の子会社化

株式併合

## 【参考】

事業セグメントの内容

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# 第1四半期累計期間の(4月～6月)の連結経営成績



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額	増減率	通期 業績予想 (4月28日発表)	進捗率
売上高	2,705	3,024	↑ 319	12%	12,000	25%
営業利益	129	186	↑ 56	44%	600	31%
経常利益	137	202	↑ 65	47%	600	34%
純利益	90	316	↑ 225	248%	400	79%

- ✓ 前年同期に比べて増収増益、順調な滑り出しとなった
- ✓ 釣りビジョン社における損害賠償請求訴訟の解決金が支払われた
- ✓ 純利益は、上記解決金に係る特別利益から税金費用や非支配株主持分を控除した影響額(約150百万円)により、大幅増益となった

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額
教 育	603	749	↑ 146	161	206	↑ 45
スタジオ・コンテンツ	678	669	↓ △ 9	△ 45	△ 9	↑ 35
放 送	626	649	↑ 23	68	67	→ △ 1
技 術	796	955	↑ 158	53	99	↑ 45
全 社 費 用				△ 108	△ 178	↓ △ 69
合 計	2,705	3,024	↑ 319	129	186	↑ 56

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額
教 育	603	749	↑ 146	161	206	↑ 45
			+24%			+28%

- ✓ 6期連続で入学生徒数が過去最高を更新し、増収増益
- ✓ 横浜キャンパス開校や大阪校の通学キャンパス拡張(準備中)により業容拡大
- ✓ 第1四半期の連結業績を牽引

◆通信制高校  
ルネサンス高校グループ

◆日本語教育

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額
スタジオ・コンテンツ	678	669	→ Δ 9 微減	Δ 45	Δ 9	→ 35 赤字縮小

- ✓ 制作事業は、前年同期にコロナ禍の影響で延期や中止となっていた日本語吹替制作が回復し、増収となり黒字に転換
- ✓ コンテンツ販売事業は、テレビ向け番組販売が減少
- ✓ その結果、売上高は前年同期から微減となり、赤字幅は縮小

◆ デジタルメディアサービス

◆ コンテンツ販売事業

◆ 制作事業

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

		売上高			営業利益		
		2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額
放	送	626	649	▲ 23	68	67	△ 1
		+4%			同水準		

- ✓ 視聴料収入は減少傾向が続く
- ✓ 前年同期に、コロナ禍の影響でストップしていた新番組の制作が再開したことで、スポンサー収入は回復
- ✓ 「釣りビジョンVOD」は売上高も費用も増加

◆釣り専門チャンネル  
「釣りビジョン」

◆釣りビジョンVOD

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額
技術	796	955	↑ 158	53	99	↑ 45
			+20%			+85%

- ✓ 主力のCDN(アカマイ)サービスは、引き続き好調
- ✓ クラウドソリューションは赤字幅が縮小
- ✓ ネットワーク営業は、ブロードバンド回線の販売が一時的に増加
- ✓ デジタルシネマは低調に推移

◆CDN(アカマイ)サービス    ◆クラウドソリューション    ◆デジタルシネマサービス  
 ◆ホスピタリティ・ネットワーク    ◆ネットワーク営業    ◆その他

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～

(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	営 業 利 益		
	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	増減額
全 社 費 用	△ 108	△ 178	↓ △ 69

64%費用増

- ✓ セキュリティ対策や企業買収に係る一時的な費用が発生
- ✓ 前期の子会社吸収合併に伴う一時的な税金費用の調整などが発生

- ◆グループ本社(ブロードメディア)管理部門の運営
- ◆グループ全体の支援(生産性向上・効率化・ガバナンス強化等)

# 連結財政状態

## 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	2020年度	2021年度 第1四半期	増減額	増減率
総資産	6,994	7,389	394	6%
負債	3,287	3,256	△ 31	△1%
純資産	3,706	4,132	426	11%
自己資本	2,748	3,067	319	12%
非支配株主持分	957	1,065	107	11%
自己資本比率	39%	42%	—	—

総資産

番組勘定が減少した一方で、売掛金や前払費用が増加

負債

預り金が増加した一方で、買掛金や前受金が減少

純資産

純利益の計上により純資産は増加

# 連結財政状態



## キャッシュフローの状況

	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期
営業キャッシュフロー	△ 393	116
投資キャッシュフロー	△ 101	△ 67
財務キャッシュフロー	△ 64	△ 33
現金及び現金同等物の増減	△ 559	16
現金及び現金同等物の期末残高	2,815	3,384

(単位:百万円)(百万円未満切捨て) ※上記表中には「現金及び現金同等物に係る換算差額」は記載しておりません

### 営業キャッシュフロー

税引前利益533百万円を計上した一方、売掛金の増加や賞与の支払い等により、プラス116百万円

### 投資キャッシュフロー

固定資産の取得や敷金の差入等により、マイナス67百万円

### 財務キャッシュフロー

リース債務の返済により、マイナス33百万円

# 2021年度第1四半期決算概要

## 業績予想の修正および株主還元

### システムデザイン開発株式会社の子会社化 株式併合

#### 【参考】

事業セグメントの内容

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# 業績予想の修正および株主還元



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	前回予想 (4月28日発表)	修正予想 (7月29日発表)	差異	(参考) 2020年度 実績
売上高	12,000	12,000	—	10,991
営業利益	600	600	—	478
経常利益	600	600	—	476
純利益	400	550	 150	151

- ✓ 第1四半期は順調な滑り出しとなったが、売上高・営業利益・経常利益の業績予想は据え置く
- ✓ 純利益は、第1四半期に支払われた損害賠償請求訴訟の解決金の影響を反映し、上方修正を行う
- ✓ 当期の株主還元につきましては、今後の業績の動向や必要な投資を勘案して、引き続き検討してまいります

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

# 2021年度第1四半期決算概要

業績予想の修正および株主還元

システムデザイン開発株式会社の子会社化

株式併合

## 【参考】

事業セグメントの内容

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# システムデザイン開発株式会社の子会社化

## 買収の目的

- ✓ 「技術」セグメントの事業領域の拡大
  - ・ソフトウェア開発や企業向けシステム設計など新たなサービスを提供
  - ・既存サービスの成長に不可欠なエンジニアの確保
- ✓ グループ事業の技術支援
  - ・エンジニアの増強によりグループのシステム開発を内部からサポート

**SDD** システムデザイン開発株式会社 (<https://www.sddgrp.co.jp/>)

所在地	北海道札幌市中央区南 1 条西 10 - 1 - 2
事業内容	ソフトウェア開発事業、クラウドサービス事業、BPO サービス事業 (特長) 経験豊富なエンジニアによる豊富な開発実績と高い技術力により システム設計・開発、保守運用サービスをワンストップで提供
設立年月日	1985年8月1日
売上高	284百万円(2020年7月期)

# 2021年度第1四半期決算概要

業績予想の修正および株主還元

システムデザイン開発株式会社の子会社化

**株式併合**

**【参考】**

事業セグメントの内容

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

## 10株を1株に併合(2021年10月1日予定)

- ✓ 東証の有価証券上場規程において望ましいとされている投資単位の水準、  
「5万円以上 50万円未満」に調整

注) 2021年9月30日の株主名簿に記録された株主様の所有株式数が基準

# 株式併合によるご注意事項

現在	1株以上 10株未満	10株以上 100株未満	100株以上 1000株未満	1000株以上
	単元未満株式			
	議決権なし		議決権あり	

10株から1株への株式併合

2021年 10月1日 以降	0.1株以上 1株未満	1株以上 10株未満	10株以上 100株未満	100株以上
	端株	単元未満株式		
	議決権なし			議決権あり

# 株式併合によるご注意事項

現在	1株以上 10株未満	10株以上 100株未満	100株以上 1000株未満	1000株以上
	単元未満株式			
	議決権なし		議決権あり	

10株から1株への株式併合

2021年 10月1日 以降	0.1株以上 1株未満	<u>1株未満の端数が生じる場合</u> 一括して処分し、それらの代金を 端数が生じた株主様に対して、 端数の割合に応じて分配		
	端株			
	議決権なし		議決権あり	

# 株式併合によるご注意事項

現在	1株以上 10株未満	10株以上 100株未満	100株以上 1000株未満	1000株以上
	单元未満株式			
	議決権なし		議決権あり	

## 10株から1株への株式併合

2021年 10月1日 以降	0.1株以上 1株未満	1株以上 10株未満		
	端株	单元未満株式		
	議決権なし		議決権あり	

**单元未満株式をご所有の株主様**

自己の有する单元未満の株式を買い取るよう、当社に対して請求できます

# 株式併合によるご注意事項

現在	1株以上 10株未満	10株以上 100株未満	<b>100株以上 1000株未満</b>	1000株以上
	単元未満株式			
	議決権なし		議決権あり	
<b>10株から1株への株式併合</b>				
2021年 10月1日 以降	1株以上 10株未満	10株以上 100株未満	100株以上	
	端株	<b>単元未満株式</b>		
	議決権なし		議決権あり	

## 単元未満株式になられる株主様

自己の有する単元未満の株式を買い取るよう、当社に対して請求できます

## 10株から1株への株式併合

# 株式併合によるご注意事項

## 単元未満株式をご所有の株主様

自己の有する単元未満株式を買い取るよう、当社に対して請求できます

お取引の証券会社または、当社株主名簿管理人までお問い合わせください

## 1株未満の端数が生じる場合

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の規定に基づき一括して処分し、それらの代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて分配いたします

# 株式併合によるご注意事項

具体例)現在3900株ご所有の株主様

現在	株式数	3900株
	議決権の個数	39個

併合後の株式数 390株

2021年 10月1日 以降	株式数毎の内訳	300株	90株
		100株以上	10株以上 100株未満
	議決権の個数	議決権 3個	議決権なし

# 株式併合の影響

具体例)現在3900株ご所有の株主様

現在	株式数	3900株
	議決権の個数	39個

併合後の株式数 390株

2021年 10月1日 以降	株式数毎の内訳	300株	90株
		100株以上	10株以上 100株未満
	議決権の個数	議決権 3個	議決権なし

# ご清聴ありがとうございました



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

# 2021年度第1四半期決算概要

業績予想の修正および株主還元

システムデザイン開発株式会社の子会社化

株式併合

## 【参考】

事業セグメントの内容

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# 事業セグメントの内容



セグメント	事業内容	主な業務内容
教育	通信制教育	・イーラーニングシステムを利用した単位制・広域通信制高校 「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」の ルネサンス高等学校グループの運営
	日本語学校	・日本語研修・日本語教師養成講座を提供する「日本語センター」の運営
スタジオ・ コンテンツ	デジタルメディアサービス	・マルチデバイス向けコンテンツ配信サービス 「クランクイン！ビデオ」「クランクイン！コミック」の提供 ・エンタメ・情報サイト「クランクイン！」「クランクイン！トレンド」の企画・運営
	制作事業	・日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作
	コンテンツ販売事業	・劇場映画の製作・配給 ・テレビ放映権の販売 ・VOD権の販売、DVD/Blu-rayの発売
放送	釣り専門チャンネル	・衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給 ・映像の受託制作
	釣りビジョンVOD	・マルチデバイス向け動画配信サービス「釣りビジョンVOD」の提供
技術	クラウドソリューション	・クラウドゲームサービスの提供 ・通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者への クラウドゲーム機能提供 ・スマートフォン向けクラウドゲームアプリの提供
	デジタルシネマサービス	・ブロードメディア®CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売及びレンタル ・映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPFサービスの提供
	CDNサービス	・コンテンツを最適な形で配信する「CDN(アカマイ)サービス」 「CMオンラインサービス」「セキュリティサービス」の提供
	ホスピタリティ・ネットワーク	・ホテルの客室・会議室へのインターネットサービスの提供、機器の監視及び保守サービスの提供
	ネットワーク営業	・「SoftBank 光」「SoftBank Air」「Yahoo! BB」及びその他ブロードバンド回線の販売 ・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売 ・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯端末の取り扱い
	その他ソリューションサービス	・グローバルに展開されたプライベートネットワーク「Aryaka」等の提供 ・画像解析技術を駆使した小売業向け次世代型AIソリューション「Vue.ai」の提供

# 釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗



民事手続き  
(損害賠償請求等による回収)

⇒ 元役員に対する損害賠償請求訴訟は和解が成立  
役員等賠償責任保険を締結している保険会社より  
350百万円の解決金が支払われた

刑事手続き  
(継続中)

⇒ 告訴状が警察署に受理された  
釣りビジョン社は引き続き捜査に協力

創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する

<https://www.broadmedia.co.jp/>



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。